

## 2019年度 on i ビジョン番組審議会

2019年度番組審議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため面談での会議は開催せず、文書で委員からの意見を聞いた。

### ◇番組審議会委員

長門修二委員、西谷萬二委員、羽田浩委員、平田慎一委員、藤原靖子委員

### ◇委員からの意見

自主制作放送全般について

(羽田委員)

地元岡山の行事がふんだんに扱われ楽しめる。一般の人をどんどん取り上げて頂きたい。

(藤原委員)

岡山の身近な方が出演され親しみやすい。地域の取材では代表へのインタビューだけでなく、参加者の感想を丁寧に聞いている。ニュースを朝・昼・夕と3回放送、見逃しても視聴でき有り難い。

(長門委員)

地域の伝統文化・芸術・県、市政からの情報・高齢化社会の対応等が幅広く報道、地域の情報が分かって非常に良い。

(羽田委員)

市街地中心部の店舗紹介などを増やして欲しい。県内ケーブルテレビ各社との協力体制をさらに強化して、番組共有化を進めてほしい。

(藤原委員)

保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校・大学の行事がなくても学校訪問として広く紹介してほしい。地域の同じ行事を2～3まとめて紹介してはどうか？

(長門委員)

季節感を感じられる番組も取り入れてはどうか。岡山市では自主防災組織づくりに取り込んでいる、取組等を報道することで人々の災害に対する認識も深まるのではないか。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、色々な催し等が中止になっている中、報道活動に従事されている皆様のご苦勞を察するところですが、乗り越えて元の報道番組に早く戻れることをお祈りしています。